

本町坂町会

我が本町坂町会は戦後の爪痕も残る昭和26年9月1日に創立されました。初代富沢義治、2代古屋英盛、3代古村芳信、4代小泉八重作、5代大口剛、6代曾根忠三、7代鍛冶正三、8代小泉隣太郎、9代鯉沼幸男ら歴代の会長によります並々ならぬご尽力により歴史を刻み創立70周年を迎えるに至りました。旧中山道、石神井川沿いの板橋区の地名由来の板橋を過ぎ岩之坂に至る場所に位置して古くは江戸時代、加賀百万石の前田家下屋敷の隣接地として名所「史跡縁切り榎」があります。もともと大六天神の神木でしたが幕末、皇女和宮が降嫁の際、縁起が悪いのでこの場所を迂回したという逸話が残り庶民の間では、悪縁を切って良縁を結んでくれるという信仰の対象となりテレビのバラエティー番組で紹介されると一躍有名になり全国から参拝者が訪れるようになりました。少子高齢化、地域防災、加入者減など今後の課題は山積していますが5人の副会長、吉田清次郎、相原正博、浜田俊一、小泉光子、斎藤絹子と各班長、会員の皆様と共に「地域参加で安心、安全な街づくり」を合言葉に今後も地域に根ざした活動をして参ります。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています



「史跡縁切り榎」前で副会長と班長